

1. 水・自然環境

11 水辺に触れ、楽しむための水質改善（水のキレイさが前提）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	中町地区より新町地区の川の水がキレイで驚いた。	第1回懇談会
2	水門間の水位管理区間でも水の流れが必要。臭い等の問題がある。	第1回懇談会
3	水面利用をするにも、水がキレイでないとできない。	第1回懇談会
4	D2ゾーンは、冬はキレイだが夏は赤潮や青潮が発生する。	第1回懇談会
5	親水という観点では、濁った川の水というのは抵抗があるので、生活排水などの在り方や、ヘドロなどの浚渫、ゴミの除去について、継続的な試みが必要。	第2回懇談会
6	元町は、水質や安全性に課題がある。	第3回懇談会
7	利活用には、水質を含めた環境づくりが本当に大事なことだと思う。	第3回懇談会
8	水を綺麗にしないと楽しめないのではないかとやっているが、水は上流から流れている。元町の川もきれいにすることを考えてほしい。	第3回懇談会
9	「水質の改善」「西水門の水質改善」「境川の水質改善」	第4回懇談会
10	水質については、元町ゾーンと中町・新町の水質の問題はずいぶん違う。	第4回懇談会
11	水辺・水面の活動をより一層楽しむためには水質の問題が重要である。	第4回懇談会
12	「水質改善」	第4回懇談会
13	水質と自然環境を含めて境川を復活させる。	第4回懇談会
14	「水質問題」「境川の水質」「境川の水でお米を研いだ」	第4回懇談会
15	楽しさは、水がキレイ、桜や緑がある、魚釣り、水辺に近い（魚が見える）など総合的な気持ち良さからなるものと思う。	プレ（仮称）勉強会
16	「川をきれいにする」について議論。	第1回進める会
17	「川をきれいにする」	第1回進める会
18	水門があかないことによる水質の問題を話し合わないと、水面を活用した具体的な話に行かない状況であった。	第1回進める会
19	基本は水質、水のきれいさが第一である。	第1回進める会
20	水がきれいにいらないとどうしようもない。まずは水をきれいにしたい。	第2回進める会
21	水質については、水のきれいさのゴールがないまま進んでもわからない。	第2回進める会
22	「私はかわまちづくりで、水ガキがもどるようなきれいな水にしたい。」	第2回進める会
23	水がきれいにいらないと何も始まらない。	第2回進める会
24	とにかく水をきれいにすることを具体的に考えて推進すればいいのではないか。	第2回進める会
25	「私はかわまちづくりで、水をきれいにしたいです。」「水をきれいにしたい。」	第2回進める会
26	水質を改善したい。境川をきれいにしたいということが根底にはあるということがわかった。	第2回進める会
27	「水質改善」「私はかわまちづくりで、水をきれいにしたい。」「境川の水を透き通る水にしたい。」	第2回進める会
28	「私は、水面の活用には川の浄化・水質改善が大事だと思う。海岸住民の川への関心を高める手立てを。」	第2回進める会

12 水辺に触れ、楽しむための水質改善（水をキレイにする方法）

①水門操作・ポンプ排水による水質改善

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	水門間の水の交換による流れ、酸素供給がなされて水質が改善されると市民が水辺に親しむようになり、生物の復活にも結びついてくると思う。	第2回懇談会
2	境川には水門が2つあり、定期的にかけているとなっているが、本当に水が流れているのかを検証すべき。	第3回懇談会
3	川をきれいにする水門の開閉については、陣内先生も非常に重要、自治会からもAゾーンの方を何とかしてほしいという話もある。今回の議題と並行して出来る話しだと思いがいがかか。	第3回懇談会
4	「境川の水質を復活（水門操作）」	第4回懇談会
5	水門の操作等で境川の水が汚いということを改善したい。それと合わせて「みどり」もある。	第4回懇談会
6	下流と西水門付近は水位差があるので、うまく水門操作をするか、ポンプで入れてポンプで出すことも可能である。	第4回懇談会
7	ポンプ排水で強制的に水の流れを復活させる。	第1回進める会
8	水の流れを復活させるためには、頻繁に水門の開閉を行うことやAIを使って自動的に行う。	第1回進める会
9	「淀川の例 プログラム」「水の流れを復活させる」「水の流れを回復してきれいになる」「水質改善 水門開閉を現代版に」「3時間の開閉でどうか?」「水門開閉 AIで行う」「ポンプで強制的に行う（新川）」「旧江戸川の水門を開ける」「水門の操作ではポンプを一日中回している」「樋管で水をまわしている」	第1回進める会
10	道頓堀川のように水門を開けて水が流れる仕組みを構築したい。	第2回進める会
11	ポンプを使って水の流れを作ることも検討したらいいだろう。例えば境川の水を境川公園にポンプアップし、その生き物で浄化して川へ帰していく。	第2回進める会
12	流れを作るために、例えば水門の動かし方の工夫やポンプを使う。水門や水が流れるようにするポンプなどの施設をどうやって作っていくか。	第2回進める会
13	「道頓堀川のように水が流れる仕組みを構築したい。」「ポンプを使って流れをつくる。」「境川の水を境川公園にポンプアップして浄化したい。」	第2回進める会
14	水をきれいにするには、ゴミ拾いや水門の開け閉めとかいろいろな事が必要だろう。	第2回進める会
15	水門を開けなくても流れるようにする方法を考える。それに伴って水門の開閉をもっと多くすればきれいになるのかもしれない。	第2回進める会
16	「ポンプを使用し、高低差。」「水門の開閉を多く。」	第2回進める会
17	市で発表している水門の中の汚濁している水を流せないというのは本当なのか。自分で水位の調査をしたい。	第2回進める会
18	「水位の調査」	第2回進める会

②生活排水処理の改善

発言内容・付箋記載内容	開催回
1 水質の改善を図るため下水道未接続の解消、水門開閉頻度の大幅増を求めたい。	第2回懇談会
2 浄化槽を整備し、流れ込む水の方の水質改善が急務と思われる。	第1回進める会
3 雑排水の流れ込みがまだあるので、下水の問題をクリアする。	第1回進める会
4 「下水の問題 法的にクリアする」「雑排水の流れ込みを失くす」「浄化槽の整備をする」「下水の逆流弁の設置」	第1回進める会
5 生活排水直接流入の問題が解消されると元町の護岸高は、A.P. +2.1mできているので、今よりも自由度の高い水門操作ができるはずである。	プレ（仮称）勉強会
6 元町の一部は下水がつながっていないという話しを聞く。正しくつながるところはつながないと、いくら水をきれいにしようと思っても限界がある。そういう運動をすべきではないか。	第2回進める会
7 「私はかわまちづくりで、雑排水の流入を止めたいです。」	第2回進める会

③その他（水質改善全般）

発言内容・付箋記載内容	開催回
1 水質浄化について県と市に要望をした。この会としても要望を出してほしい。	第1回懇談会
2 浚渫を境川かわまちづくり計画から千葉県河川整備計画への位置づけを働きかけたい。	第1回懇談会
3 河口部の水門・排水機場の整備で東水門から下流の水質は悪くならないのか心配である。	第2回懇談会
4 「水の自然浄化が働くよう干潟的環境を作りたい。」「私はかわまちづくりで、強風時に湾側から流入する汚れを浄化したい。」 浚渫 浄化 水が流れる 水質浄化 流れ	第2回進める会
5 「私は、境川の水質を浄化するための装置を設置し、非常時に対応できるようにします。」「私はかわまちづくりで、川の水を抜いてきれいにしたい。」「私はかわまちづくりで、水質管理の噴水を作りたいです。」「浄化装置を作成する。」「私はかわまちづくりで、水門を開けない時でも流れをつくりたいです。」「私はかわまちづくりで、境川を流れる川にしたいです。」	第2回進める会
6 水底にあるヘドロがにおいや汚濁の原因になっているので、ヘドロはすくった方がいい。	第2回進める会
7 「私は、境川の水底（ヘドロ）をさらいたい。」	第2回進める会
8 境川の親水性があるところに風力や太陽光を使った水循環、噴水を付けることで水をよくしていく。	第2回進める会
9 水の浄化は、例えば噴水を作って空気を入れていく。公園のそばに引き上げて水を浄化して戻していく。特に元町の方では水の浄化をやらないと人が集まらないだろう。	第2回進める会
10 水質の問題については、水・自然環境のテーマで出てくると思うので、水面の利用と含めて議論ができればいい	第2回進める会
11 自然の浄化システムを作ろう。生物が棲めば、偉大な浄化槽となる。	第2回進める会
12 原風景の再現ができれば水質浄化に繋がっていくのではないかと。	第2回進める会
13 「私は境川の親水性があるところに風力や太陽光を使った水車や水の循環施設がほしい。」	第2回進める会
14 水門を開けなくても流れるようにする方法を考える。それに伴って水門の開閉をもっと多くすればきれいになるのかもしれない。 【再掲】	第2回進める会
15 噴水をいくつか境川の中に作り、川の水を吸い上げて循環させ、途中でフィルターを入れて水を浄化する。循環して落ちた水が酸素を水の中に取り込む。	第2回進める会
16 「私は、境川の水質を浄化するような装置を整備します。」	第2回進める会

13 境川の環境を大切に作る人をつくる（清掃活動などを通じた市民意識の高揚）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	「クリーンアップ」	第4回懇談会
2	境川の両岸の自治会や事業者が護岸や管理用通路の清掃活動が分担してできるような方向で考えている。	第2回懇談会
3	河川一時使用届や護岸柵の鍵の借用等の事務を浦安市が代理で実施していただくと、 <u>近隣自治会や事業者等で河川愛護のための清掃ボランティア活動が推進し易くなる。</u>	第2回懇談会
4	川に触れられると自然に水をキレイにしようと思う。	第1回懇談会
5	東水門のあたりはゴミが多いので、ゴミが拾いやすい、ゴミを拾うための重機が入りやすいなどの管理面でもアクセスしやすくなるとよいと思う。	第3回懇談会
6	水質はキレイにするのと同時に汚さない取り組みも必要である。防災訓練の自治会対抗Eボート競走などで、住民が水に触れ、きれいにしよう意識することが重要と思う。	プレ（仮称）勉強会
7	クリーンアップでは、カヌークラブの方々の参加で水面、水底にあるゴミも拾っている。	第4回懇談会
8	Eボートでゴミを取るのもよいかも。市でもゴミは取っている。	プレ（仮称）勉強会
9	境川や三番瀬でクリーンアップを行っているが、カヌー協会と引き続き協力して、生物が戻ってくるような環境にする。	第1回進める会
10	「クリーンアップをもっと」	第1回進める会
11	水をきれいにするには、 <u>ゴミ拾いや水門の開け閉めとかいろいろな事が必要だろう。</u> 【再掲】	第2回進める会
12	ゴミ拾いもみんなですらなくてはいけない。	第2回進める会
13	「私はかわまちづくりで、リュウノヒゲモをきれいにしたい。」「川面のゴミを減らす。」「私はかわまちづくりで、クリーンアップを1回/月開催したいです。」	第2回進める会
14	ゴミがないとか、もっと散策できるようにする。	第2回進める会
15	カキ礁の撤去。そうすると魚が増え、魚が増えれば水鳥がいる風景ができてくるのではないかな。	第2回進める会
16	ごみのポイ捨てがなくなるといい。	第2回進める会
17	「下流のカキを少なくしたい。」「私は、境川でクリーンアップがしたい。」「私は、境川にゴミをポイ捨てする人をなくしたい。」「私は境川の水面のゴミを拾いたい。」	第2回進める会
18	「水辺、水面のゴミ拾い。」	第2回進める会

14 自然と生物の保護・復活

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	干潟ができればそこで生物が水質を浄化してくれる。	第3回懇談会
2	汽水域を再生させることにより、多様な生物の復活につながると思う。	第2回懇談会
3	ビオコリドーの形成：浦安のかつての自然特性である汽水域の自然と生物の復活	第2回懇談会
4	境川河口の高洲側窪地の親水公園としての総合的公園づくり（干潟的環境形成、多様な環境整備、樹木・花壇などみどりの景観形成、自然観察・バードウォッチング）	第2回懇談会
5	川床に生息する「リュウノヒゲモ」の生息により、その保護の観点から、ヘドロの一斉除去などが難しいという話を聞いたことがある。「池の水を全部抜く」ような企画をテレビ局に持って行こうかと思っていたことがある。	第2回懇談会
6	「緑」	第4回懇談会
7	「水とみどりと生命のネットワーク」「自然に親しむ」	第4回懇談会
8	排水機場の木は貴重な森なので有効に残したい。	第4回懇談会
9	「排水機場の木は貴重な森なので有効に残してほしい」	第4回懇談会
10	両岸は整備されたが、川に緑がない。フロートに植生を植えたことがある。粗朶沈床も行い生き物が寄ってきた。	プレ（仮称）勉強会
11	リュウノヒゲモがスポットライトを浴びていない。どんな植物なのか？なぜそこに生息しているのか？を説明するとそれなりにインパクトはあるのではないかな。	プレ（仮称）勉強会
12	浦安はかつて汽水域で、川と潮が混ざって干潟があった。汽水域の再生をどこかでできないかな。	第2回進める会
13	「汽水気の再生。」「私はかわまちづくりで、境川水槽を作りたい。」	第2回進める会
14	ヨシの林を再現するなどの環境整備をしよう。	第2回進める会
15	鴨川にあるような納涼床を作りたい。あるいは砂浜。砂浜づくりのきっかけを作りたい。	第2回進める会
16	「私はかわまちづくりで、ヨシを植えたいです。」「私は、魚・貝が生息できるような砂浜を再現したいです。」「私は、水辺の植物を備えて河口部の自然を再現したいです。」「私はかわまちづくりで、鳥が沢山来るようにしたい。」「私はかわまちづくりで、砂浜作りのスタートとなるものを作りたい。」	第2回進める会
17	カキ礁の撤去。そうすると魚が増え、魚が増えれば水鳥がいる風景ができてくるのではないかな。【再掲】	第2回進める会
18	「私は、かわまちづくりでかつての浦安の自然を再生したい」「私は、かわまちづくりでアオギスが生息できる環境づくりをした。」「私は、アオギスマつりを復活させたい。」	第2回進める会
19	「河口部に浅瀬を再現したい。」	第2回進める会

15 境川を自然環境の学びの場に（環境学習・環境教育の推進）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	境川は汚いと言っているが、生き物はたくさんいる。見せてあげられるようにするには、浅瀬を作るとか船が出るような場所があれば、観察場所となる。	プレ（仮称）勉強会
2	子供たちに生物を見せたり、生物多様性などの教育材料となるように境川を変えていきたい。	第1回進める会
3	「護岸にヨシを植える」「生物が戻ってくる」「ハゼが戻ってくる」「生物多様性」	第1回進める会
4	リュウノヒゲモも実物展示をやってみてはどうか。非常に希少植物である。	第2回進める会
5	境川水槽を作りたい。自然観察をやりたい。子ども達と一緒に見られる、学んでいく場を作りたい。	第2回進める会
6	境川水槽には、一つは境川の生き物を持って行って展示する方法、もう一つはアクリル板などを境川に入れて泳いでいる魚を見る方法がある。	第2回進める会
7	「私はかわまちづくりで、境川の自然観察をやりたい。」「私はかわまちづくりで、リュウノヒゲモの実物展示をやりたい。」	第2回進める会
8	「私はかわまちづくりで、自然観察がしたいです。」	第2回進める会
9	生き物との触れ合いの場を作りたい。これは干潟と関係がある。	第2回進める会
10	「私は、かわまちづくりで生き物と触れ合える場をつくりたい。」	第2回進める会

2. 歴史・文化

21 浦安の歴史や文化を伝え、賑わいを生む景観をつくる（景観形成）

①浦安の歴史や特徴を活かした景観形成

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	一本の川が性格の違う3ゾーンを繋いでいてドラマチックである。	第1回懇談会
2	ヨーロッパのように旧市街地と新市街地がつながっている街は、他にないのではないか。	第1回懇談会
3	水門やまち並み木の景色がよいので、修景整備ができるとなおよい。	第1回懇談会
4	昔の浦安は汽水域で半農半漁と言われるだけあって、ほとんど田んぼであった。そういう原風景を浦安の中に残してあげたい。	第2回懇談会
5	昔は半農半漁のまちというフレーズが必ずついていた。	第3回懇談会
6	ゾーン毎にいろいろな史跡やビューポイントがあるが、活かせてない。	第1回懇談会
7	浦安は干潟がなだらかに続いて、陸と海が連続した場所だった。	第3回懇談会
8	昔は東水門からは海で干潟的環境があった。原風景として排水機場といくつかのところで実験的に干潟的環境を作り、それらを結びつけることによって船を着ける場所も作れる。原風景のイメージを持ちながら、現代的な遊びもできるという作り方が重要ではないかと思う。	第3回懇談会
9	「海水浴場があった」「水辺の景観づくり」「水田 たんぼ」	第4回懇談会
10	日の出橋から上流に向かってスカイツリーが見える映えスポットや旧市街地のノスタルジックな東西線の背景とか、見どころの情報発信は必要	プレ（仮称）勉強会
11	元町の水門近辺が一つのスポット。干潟を広げたり、べか舟を浮かべるなど昔の雰囲気を残せるとよいと思う。	プレ（仮称）勉強会
12	新町・中町は計画的に作られたキレイなまち、味わい深さなら歴史や神社仏閣がある元町の方がいい。それらを総合して歩いて楽しいまちづくりになる。	プレ（仮称）勉強会
13	「地区の歴史が感じられる景観」	第1回進める会
14	舟に乗るのもよいが、舟が在るだけで絵になる。物理的な景観の上に営みやアクティビティが加わることで味わいが出るのではないか。	プレ（仮称）勉強会
15	葦原やたんぼ、浦安は半農半漁、そういうことも含めてかつての原風景をどのように再現したらいいのか。	第2回進める会
16	原風景を取り戻すということでヨシを植える。	第2回進める会
17	「私は浦安の原風景を河口部分に再現したいです。」	第2回進める会
18	元町の原風景だけではなく、新町、中町の原風景も伝えていくことも大事である。	第2回進める会
19	昔の風景の再現は、べか舟が通ることもあるが、年間を通してイベント的なもの（歳時記、七夕や灯ろう流し、水神祭など）もある。昔の人々の生活スタイルを少し再現するといったイベントもあると思う。	第2回進める会
20	境川沿いの建物や色合いなど、景観的要素、境川からにじみ出てくる周辺の街並みがあることで、さらに境川の良さ、風景の再現ができるのではないか。	第2回進める会
21	境川は「漕（みお）」という漁船の航路であった。	第2回進める会
22	「私は、かわまちづくりで浦安の原風景の復活をしたい。」「私は、かわまちづくりで舟を使って浦安の昔の風景を再現したい。」「私は、かわまちづくりで境川の風物詩を再現したい。」「私は、かつての漁師まちの復元を川辺に再現することをしたい。」「私は、浦安の昔の景色（アサリ漁や海苔干しなど）をリアルに再現したい。」	第2回進める会
23	漁師町と銭湯というのは、不可分だった。浦安の文化・歴史みたいなものを色濃く残し生活文化の象徴が、松ノ湯だったのではないか。これを何とか今風に生かせないか。	第2回進める会
24	「私は、浦安が海のまちであった事を残したい。」	第2回進める会

②楽しさ、賑わいを生み出す景観形成

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	その場所に行くと美しい、楽しい、憩えるなど、特にイベントが無くても自然に人が集まって遊んでいる、そのようなまちづくりを目指したい。	第2回懇談会
2	境川に表を向けるような沿道を含めた繋がりや景観的なルールなどを作りたい。沿道の住民の合意形成が必要である。	第3回懇談会
3	商業施設も同じように管理用通路とつなぐというような仕様にできるとよいと思う。	第3回懇談会
4	対岸からの見栄えからすると、商業施設は裏的な要素になっている。商業施設もかわ側が顔になるしつらえができるガイドライン的なものを作り、商業施設に来た人も回遊できると、賑わいできてよいと思う。	第3回懇談会
5	現状の護岸の舗装材を少し改良するだけで、すぐに楽しくできる。	第4回懇談会
6	「歩いて楽しくなる景観」「人が集まってくる空間 子ども 大人 草花いっぱい」「若潮公園あたりの欄干を強くしてこいのぼりをつるしやすくする」「園児がこいのぼりをみれるポイントを作る（今は高すぎて子どもが見られない）」	第1回進める会
7	川に目を向ける動機づけが必要。川岸でお茶ができるとかべか舟を浮かべる。船の定期運航や乗船体験は近道である。	プレ（仮称）勉強会
8	川と水辺を一体として考えるようなまちづくりをし、それを陸上からではなく、海や川から眺めて見ることができる。	第2回進める会
9	日常の賑わいを作りたいということでは、境川周辺の公園との融合がある。新町の方には川沿いに開発者が提供した細長い用地あり、それも一体的に使えばもう少し賑わいができるのではないか。	第2回進める会
10	「私は境川の岸辺にイルミネーションをつけたいです。（電源は自然エネルギー）」	第2回進める会

③その他（景観全般等）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	ルールも作りたい。	第1回進める会
2	「川沿いの景観 ルールづくり」	第1回進める会
3	たんぼ、景観なども含まれる。	第4回懇談会
4	ルールには、境川を使うためのものもあるし、周辺の景観も含めたものもある。未来へのルール作りのために何かをやっていこうということである。	第2回進める会
5	水と花と緑のネットワークというのもルール作りの一つだと思う。	第2回進める会
6	「私は、境川と周辺の景観を調和させるルールづくりがしたい。」	第2回進める会
7	「私はかわまちづくりで、きれいな境川をインスタにあげたいです。」	第2回進める会

22 潤いと安らぎのある空間をつくる（水と緑の調和した空間形成）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	管理道沿いの草花の管理などの活動は、水やりが必須のため、散水用の水栓があるのが望ましい	第2回懇談会
2	境川河口の窪地について、体験型ワークショップの内容例：淡水池・田んぼ、ビオトープづくり、緑化・花壇づくり、実験的にイベントやマルシェの開催、乗船体験などを行い、広く市民の参加を募りながら、境川全体への意識を高めていく	第2回懇談会
3	点としての景観を線から面につなげるには花や緑は重要な役割を果たすが、浦安らしさはそれプラス水辺でつなげる。境川は、中心となる存在である。	第3回懇談会
4	D1ゾーンやA・B・Cゾーンは、イベント時は人が活動しているが、日常的に散策している人は見かけない。緑が不足していること、個人的な感覚だが煉瓦の擁壁に違和感があるのではないか。	第3回懇談会
5	(D1-1ゾーンのイメージ図の)護岸の parapet がコンクリートむき出しと言うのは、景観的にはかなり抵抗がある。壁面緑化とか、川側については、自然石の使用を考えてはどうか。	第3回懇談会
6	個人的な意見であるが、(D1-1ゾーンのイメージ図の)レンガには、違和感がある。壁面緑化とか自然石、それから木を使うとかをもう少し考えられた方がいいのではないか。	第3回懇談会
7	(D1-1ゾーンのイメージ図の)レンガ素材はひっかかる。	第3回懇談会
8	(D1-1ゾーンの境川)公園案は公園と管理用通路のレベル的な部分がうまく解消されており、既存の松や桜を残しながら少し密になり過ぎた植栽も見通しが良くなるようにしており、よくできていると思う。	第3回懇談会
9	楽しさは、水がキレイ、桜や緑がある、魚釣り、水辺が近い(魚が見える)など総合的に気持ち良さからなるものと思う。【再掲】	プレ(仮称)勉強会
10	トイレや草花を植えて管理していくということも必要である。	第1回進める会
11	境川公園のプランは基本的にはよいと思う。芝マウンドとかウッドデッキで管理用道路と結ぶなどは賛成である。	第3回懇談会
12	「私はかわまちづくりで、D2ゾーンの堤防内側へ潮風に強い低木を植えたい(緑化)。」	第2回進める会
13	「旧宇田川家、旧大塚家とのアプローチも」	第2回進める会
14	「私は川沿いに花壇を作りたい。」	第2回進める会

23 歩きやすく、歩きたくなる空間をつくる（散策路、回遊性）

①歩きやすい空間づくり（管理用通路の整備など）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	管理用通路(D1-1ゾーン右岸・東野側)の舗装が必要。	第1回懇談会
2	管理用通路部は可能な限り広く使えるとよい。	第1回懇談会
3	境川公園と管理用通路との連続性がなくて残念。	第1回懇談会
4	中流域は、管理道が整備できていない為、雑草が多く人が歩かない。ゴミの量も多く、バイクや自動車が駐車されている箇所もある。	第2回懇談会
5	中町地区の境川管理道は未整備の為雑草が多く、ゴミなどが捨てられている。	第2回懇談会
6	公衆トイレの設置など近隣住民の理解と協力が必要であり、今回の「境川かわまちづくり」で話し合いを深め、一日も早い利活用が望まれる。	第2回懇談会
7	Aゾーンは川幅が狭いが、昔は広がった。遊歩道等をつくる関係で狭くなっている。	第3回懇談会
8	Bゾーンは歩けるようになったが、橋のところに階段があり、年寄りが散歩するには苦しい状態である。	第3回懇談会
9	Cゾーンあたりで夜にランニングや歩いている方がいるが、(D1-1ゾーンまで)延伸することで市役所周辺がきれいに整備されると、そのような人たちや境川にとってもすごくよいと思う。	第3回懇談会
10	今の時期は、ちょうど桜が綺麗に咲いているので、散策しやすく整備されるのはすごくよいと思う。	第3回懇談会
11	自転車を乗られる方、サイクリングされる方がいるので、自転車が境川を安全に周遊できるようになっても面白いと思う。	第3回懇談会
12	河川の水辺に近い散策路ができるとよい。	第4回懇談会
13	「現状の護岸の舗装の改良(すぐにできる?)」「水辺と公園の連続性」「水辺と公園のネットワーク」	第4回懇談会
14	「川沿いを散歩できるように」	第4回懇談会
15	「歩きやすい道」「境川沿いウォーク→表示板の設置・物産」「中町の管理道整備」「人が集まってくる 空間 子ども 大人 草花いっぱい」「川沿いが急」	第1回進める会
16	ベンチや休憩所があるだろう。トイレや休憩所は活動するのに必要である。	第2回進める会
17	「私はかわまちづくりで、川岸に休息用ベンチを設けてあげれば。」「トイレ、東屋を設置。」	第2回進める会
18	「私はかわまちづくりで、遊歩道と川が一体化するような仕掛けを作りたい。」	第2回進める会
19	ゴミがないとか、もっと散策できるようにする。【再掲】	第2回進める会
20	花壇や遊歩道の整備、イスや東屋があったり、休憩ができるスペースがあったらいい。	第2回進める会
21	「私は水辺を身近に感じられる様にしたい(遊歩道)。」	第2回進める会
22	「境川、特に元町地区の川沿いを市民の多くが歩くようにしたい。」	第2回進める会
23	「私は、水辺のプロムナードを提案していきたい。」	第2回進める会
24	「私は、中町の管理用道路も人が歩きやすく整備してほしい。」	第2回進める会
25	歩くことに関わるものとして、休憩所やカフェなどがあっていい。	第2回進める会
26	川を利用するにも歩くにしてもトイレをまず整備してもらおう。	第2回進める会
27	歩くというテーマでは遊歩道の整備とトイレや休憩所の設置。	第2回進める会
28	トイレを利用するときにマップがなければ気楽に利用できないのでマップ作り。	第2回進める会
29	「私は、水辺で出来かかっている遊歩道を楽しく散策できるようにします。」「私は、境川の遊歩道の整備をしたい。」「私は、境位置情報などを加えて移動しやすくします。」「私はプロムナード周辺にある利用可能用地を関係づけて整備し、街との関係を強化します。」「私は、プロムナードにトイレ等を整備します。」	第2回進める会
30	遊歩道が欲しい。	第2回進める会
31	「私は、D-1ゾーンに木造の橋を架けたい。」「水辺(水面近く)で散歩したい。」	第2回進める会

②歩きたくなる空間づくり（花・緑、浦安の歴史など）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	歩いて楽しめる場所をPRすれば日常の人が増えるのではないかな。川沿いが散歩できるような整備をしたい。	第4回懇談会
2	河川沿いの植栽や花壇などに散水栓の設置、トイレ、休憩場の設置、これによって水と緑の道が形成できる	第2回懇談会
3	境川（主として新橋～江川橋間）の親水護岸の環境改善を図り多くの市民が楽しんで散歩できる魅力づくりに市民団体として協力し声を上げて実現を目指したい。	第2回懇談会
4	Bゾーンの護岸の柵に花のプランターを置いたり、ところどころに昔の境川沿いの風景の写真を置くことで、市民が散歩することになる。これが川をきれいにする、川の利用を増やすために一番大事なことだと思う。	第3回懇談会
5	「楽しく歩ける散策路」「河川に寄り添った散策路」	第4回懇談会
6	「歩けるエリア整備どこからもスカイツリーが見えるので歩くときに楽しみがあると日常の人が増える」	第4回懇談会
7	「境川沿いウォーク→表示板の設置・物産」「歩いて楽しくなる景観」「地区の歴史が感じられる景観」「人が集まってくる 空間 子ども 大人 草花いっぱい」	第1回進める会
8	「おさんぽ 健康」「健康増進」	第4回懇談会
9	市民花壇を作りたい、芝桜の花壇を作りたい、家族で花壇を作りたい、観光客を呼んで花作りをしたい。	第2回進める会
10	水と花と緑のネットワークづくりということで、市民花壇、家族でつくる花壇、市外の人と一緒にできたらいい。	第2回進める会
11	「私はかわまちづくりで、市民花壇を作りたい。」「私はかわまちづくりで、芝桜花壇を作りたい。」「私はかわまちづくりで、家族で花壇を作りたい。」「私はかわまちづくりで、観光客を呼べる花づくりをしたい。」「境川の周囲を花で飾りたい。」	第2回進める会
12	花壇や遊歩道の整備、イスや東屋があったり、休憩ができるスペースがあったらいい。【再掲】	第2回進める会
13	「私は、昔の写真（漁船の行き交い漁船の係留）を常時展示したい。」「写真やフィルムの展示・上映」「私はグループで境川沿いを歩く。」	第2回進める会
14	「私は、水辺歩きをして歴史を知りたいです。」	第2回進める会
15	景観として川沿いに花壇を作る。ここには水と花と緑のネットワークとして、水辺と花と緑が一体となったものを作ってくれたらいい。水と花と緑が一体となったネットワークづくり。	第2回進める会
16	「私は、かわまちづくりで、水とみどり为一体となったネットワークづくりを行いたい。」	第2回進める会
17	歩いた時に気持ちのいいものがあつたらいいということで「アート」としてコンサート・音楽会というキーワードがある。	第2回進める会
18	「私は、かわまちづくりで境川でリバーウォークがしたい。」「私は、川辺でウォーキングをしたいです。」「私はプロムナードを野外ギャラリーのようにします。」「私はかわまちづくりで海辺、水辺の魚、鳥の絵（写真）を展示したい。」「私はかわまちづくりで海辺、川沿いのアート制作をやりたいです。」	第2回進める会
19	「美しい水辺をつくりたい。」「私は、境川の周辺に四季の風景（美しい）を作り上げたいです。」	第2回進める会

③浦安の歴史や文化を活かした散策路づくり

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	元町地域の昔の漁師町の面影が残るところは、路地と空間を繋ぎ回遊性を高めてまち側へ広げるとか、中町・新町地域は公園など含めてかわまちづくりの活動を広げていくことが考えられる。	第6回懇談会
2	「歴史・文化」を感じさせる歩きやすい道の整備。特に中町地区は管理用通路が整備されていないので、そこを中心に歩いて楽しめるようにしたい。	第1回進める会
3	「境川の歴史ポイントをかわマップとして作成する」「まち歩き まち案内」「川を通して元町散策」「案内板を増やす」「ルート図」「浦安の良い所（お宝）探し 皆で共有→スマホでまち歩き→行政への提言」「境川史跡めぐり」	第1回進める会

④水辺と公園のネットワーク

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	境川沿いには公園等みどりが多いので、公園と水辺との連続性、関係性を強めていくことができたらい。	第4回懇談会
2	公園などのオープンスペースとの連携も水と緑という発想の中で考えた方がよい。	第6回懇談会
3	「水辺と公園のネットワーク」「水辺と公園の連続性」	第4回懇談会
4	水と花と緑のネットワークというのもルール作りの一つだと思う。【再掲】	第2回進める会
5	公園との一体化。観光漁業基地と公園の一体化は、非常に大きなものになると思う。	第2回進める会
6	「私は、河川沿いと公園などと一体的に整備してほしい。」	第2回進める会

24 市民や来訪者の浦安への愛着を形成する（歴史・文化の発信、ふるさと意識の高揚）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	乗船体験で舟から川からまちを見てもらおうと新しい発見がありリピータもいるのでPRしたい。片道は舟からまちを見て、帰りは食べ歩きしながら史跡を見て戻ることができれば、旧市街地に広がりができる。	プレ（仮称）勉強会
2	船を使って船から景色を見ながら案内をする。	第1回進める会
3	境川の乗船体験（川から見た「まち」の視点）、イベント、マルシェの開催などは、境川を知ってもらおうと同時に、活用方法などをイメージしてもらうのに有効	第2回懇談会
4	境川の歴史や文化、市としての文化・ルーツをしっかりと考える。	第4回懇談会
5	「市としての文化・ルーツ」「境川の歴史・文化・自然」「文化」	第4回懇談会
6	「まちの歴史と船を有効に利用して文化・歴史を伝えたい」	第4回懇談会
7	浦安の歴史は、鎌倉時代くらいから漁師町として水害に対してきた。何度も集落が壊滅しては復活したという歴史がある。	第4回懇談会
8	元町は神社が集まっているので、かわまちづくりでデザインして、御朱印ツアーなどできないか？	プレ（仮称）勉強会
9	浦安トラベル冊子に修学旅行の体験学習の紹介として、Eボート乗船体験、屋形船などの浦安の歴史、三番瀬の環境学習センターなどを掲載している。	プレ（仮称）勉強会
10	まち案内、案内板、写真展などで、歴史と文化を伝えたい。	第1回進める会
11	こいのぼりについては、現在行っている中町以外の地区でも行いたい。	第1回進める会
12	こいのぼりを子どもたちが見学できるように、護岸の高さを低くしたい。子ども目線の護岸も大事である。	第1回進める会
13	ふるさとの川としての意識の向上	第2回懇談会
14	「浦安の母なる川-市民の憩いの場に！」	第4回懇談会
15	浦安市民だけではなく他からも多くの方が浦安に来て、我々が進めて整備された河川を利用できるようにしたい。	第1回進める会
16	「現在は中町だけのイベントではあるが元町新町にもこいのぼりを泳がせていく」「写真展 境川のうつりかわりがわかる」「各種イベント」「治水の歴史がわかるイベント→船・橋・護岸」	第1回進める会
17	夕日のメッカにして恋人たちがそこに集まるとなかなかいい雰囲気である。海辺は夕日が良く見える。	第2回進める会
18	「私はかわまちづくりで、夕日のメッカをつくりたい。」	第2回進める会
19	「こいのぼりの拡大。」 文化創造	第2回進める会
20	「私は、境川のこいのぼりを通して、子ども達にふるさと意識を根付かせたい。」「埋まった歴史」「私は知るために歴史の詳しい人、文化に詳しい人に話を聞く。」「私は小中学校に境川の歴史・文化を伝える機会をつくりたい。」	第2回進める会
21	境川が浦安のアイデンティティを考えると、重要なものとなる。	第2回進める会
22	境川を中心に浦安が発展してきたという歴史を踏まえよう。	第2回進める会
23	元町、中町、新町の3つを一気通貫して繋ぐのは、境川である。境川の今風の役割として、3つのまちを統合していく一つのシンボルと考えたらいいのではないか。	第2回進める会
24	我々のアイデンティティを子供たちに伝えていくためには、次の世代とコラボレーションしながら何かをやって行く必要がある。イベントなど企画を考えていかなければならない。	第2回進める会
25	水や水運や海洋などに関わりのある生活スタイルが浦安の一つのアイデンティティである。	第2回進める会
26	浦安は、青べかのまち、東京ディズニーランドがあるまちと思われているが、自らが輝けるような新しい歴史をこれから作っていく。	第2回進める会
27	浦安は合理的なまちだが、文化とか芸術というものが欠けている。文化都市としてどうやって成熟するかというのが問われている。	第2回進める会
28	「東京湾の真珠」のような町にしたい。浦安らしさを誇れるようなまちをどう作っていくのか、それをどう次の世代に伝えていくのが大事ではないか。	第2回進める会
29	境川の重要性を認識して、子ども達と一緒に歴史を伝承していく	第2回進める会
30	何と言っても3方が海に囲まれた親水性	第2回進める会
31	「私は、境川の重要性について、いかに街の繁栄と関わってきたのか、それを広く打ち出していきたい。」「私は、境川が浦安の骨として重要なものと伝えたい。」「私は、水辺の風景の重要性を考え、境川の歴史が理解できるような仕掛けを提案していきたい。」「境川は街の背骨 元町・中町・新町の統合」「私は、昔の浦安を体験できる何かをしたいです。」「私は、松ノ湯さんを復活させたい。」「私は、昔ながらの商店街を復活させたい。」「私はべか舟でめぐる今昔物語を開催したい。」「青べかの街、ディズニーランドがあるところではなく、自ら輝くまち浦安。」「三方を海に囲まれるたぐいまれな街を誇りにしたい。」「私は、浦安の歴史を水辺づくりを通して再現したい。（貝や魚が育つ海）」「私は、浦安を東京湾の真珠のような街にしたい。」「親水文化都市浦安」	第2回進める会
32	「私は、船溜まりに漁村を感じさせる商業施設を整備・誘致してほしい。」「私は、境川にこいのぼりを泳がせたい。」	第2回進める会
33	もっと住みたくなる浦安がキーワード	第2回進める会
34	一級河川に相応しいとか、浦安の母なる川としてふさわしい境川。	第2回進める会
35	漣（みお）をキャッチフレーズに境川のかわまちづくりができればと思う。	第2回進める会

3. 水辺・水面の利用

31 子どもなどが安全に水辺に親しめる環境をつくる

①水辺・水面を安全に利用できる環境づくり

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	西水門付近は小段に降りられない。また、転落防止柵も無く危険であり、整備としては不十分である。	第1回懇談会
2	Eボートやカヌー活動に子供たちを安全に乗船させる浮棧橋があるとよい。	第2回懇談会
3	元町は、堤防はしっかりできているが、川に子供が落ちた場合に助けることができないような護岸になっている。川底まで着くような階段等があれば大人が入って助けることが出来る。	第2回懇談会
4	江戸川区や江東区では水路がたくさんあるが要所、要所にロープが付いた浮き輪が手すり等に設置されている。	第2回懇談会
5	Bゾーンは安全に関しては浮き輪等がない。落ちてしまったら助ける人が降りていけない状態である。	第3回懇談会
6	入船区間で子供が川に落ち、それを助けに飛び込んだタクシー運転手が泳ぎ着ける場所まで延々と泳がざるを得なかった、という目撃情報	第2回懇談会
7	護岸が壁になっているので落ちたら上がることが出来ない。境川で遊ぶということはよいことだが、安全が最優先されると思う。	第3回懇談会
8	水門間は水深が浅くスクリーンが当たったり、藻が多くスクリーンが回らなくなったりしているので、活用するには少し考えなければならぬ。東水門より下流もかなり水位が浅くなっている。	プレ（仮称）勉強会
9	「子どもが遊べる水辺を。」	第2回進める会
10	訪れたい（子どもたちが訪れたい、参加したい）	第2回進める会

②親水施設の開放、アクセス性の向上

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	カヌー利用時に安全に境川に降りるための施設を作してほしい。	第2回懇談会
2	現状でカヌーが安全に乗り降りできる施設はない。	第2回懇談会
3	境川でこいのぼりを泳がせており、Eボートに乗って見学してもらっている。その付近で安全に乗降できるようになると良い。	第3回懇談会
4	境川全域にわたって安全に水上に降りられる設備はない。安心・安全な設備のもとで活動ができれば、いつでも誰でも利用できることに繋がる。	第3回懇談会
5	水辺へのアプローチが改善されると公園やオープンスペース、緑道との一体的利用が可能になる。	第2回懇談会
6	下流域の護岸に階段がついているにもかかわらず、柵と鍵がついていて、親水性を疎外しているのは残念。	第2回懇談会
7	Dゾーンには降りることができる階段があったと思うが、その下の親水施設が沈んで使えない状況になっていたと思う。早急に安全に使えるように、行政が整備をするべきではないか。	第2回懇談会
8	管理責任があるのかもしれないが、使う人の良識、子供に関しては親が教育するなど、もっと住民に任せて使えるようにしたらよいのではないか。	第3回懇談会
9	川に降りる階段に鍵がかかっているが、近隣の住民としては、日常的にもっと川に触れ合いたい。	第3回懇談会
10	階段で川辺に降りられるように整備されている親水施設が、立入禁止で使用できない。（川に触れることができない）	第1回懇談会
11	「水辺をもっと使いやすいように親水護岸、船着場を」	第4回懇談会
12	水辺をもっと使いやすいように親水護岸とか船着場とかはできないか。	第4回懇談会
13	「川におりられるようにしたい」「船を活用して河川からまちを見る機会を増やしたい」	第4回懇談会
14	陸から水面に降りる場合の連続性をどうやって確保するか。	第4回懇談会
15	東水門より下流は潮汐の影響があるため浮棧橋のようなものがあれば潮位に左右されずに利用できる。	プレ（仮称）勉強会
16	小学校の授業の体験等で、境川を利用した水辺での活動を提案しているが、許可なしに降りてはいけないという状況で、何かを企画しても学校からの了承は得られない。	第2回懇談会
17	中町地区は、護岸が高く境川と親しみのある空間になっていないため、早い整備が望まれる。	第2回懇談会
18	川の横の緑道や公園を川と結びつける場所（トイレや休憩所）をスポット的に整備すれば、まち側の人たちと川側の人たちと一緒にものごとができる。	第2回懇談会
19	川だけで考えると幅が狭くアプローチが難しい。干潟という環境を作るなど、緩やかに水に触れられるところを作るのが良い。三方海に囲まれているので、アプローチがうまくできるところを整備し、それをモデルとする。	第3回懇談会
20	水面を見てもらうということも必要である。	第4回懇談会
21	「水辺に降りられるように整備を進めたい。」「私はかわまちづくりで、新町の日の出橋の方に川に降りるところがないので、降りるところがほしい。」	第2回進める会
22	水辺に降りられる整備をする。水がきれいになる前でも降りられるようにしよう。	第2回進める会
23	水辺へのアプローチを議論したい。降りる方法として、干潟みたいな緩やかなアプローチがあれば水に触れられる。	第2回進める会
24	水辺アプローチ	第2回進める会
25	カヌー協会がカヌーを楽しんでいるが、下りる棧橋がないという現状である。	第2回進める会
26	実際に水に触れられるような、ボートを下ろしやすくするような形になるといい。	第2回進める会
27	「私は、水辺に直接触れることができる干潟をつくりたい。」	第2回進める会
28	親水性をどのように作っていくかが非常に大事である。既存のものを活用するという考え方と新しく作るという考え方の2つに分かれる。	第2回進める会
29	中町の管理用通路やDゾーンの橋のたもとから高いので、緩やかに降りられるところを作してほしい。	第2回進める会
30	棧橋は、水上交通の要となるので、作るといいのではないか。	第2回進める会
31	親水性の確保として既存のものを使っていく場合は、既に行っているイベントはかわまちづくりの中で活動しやすい方向にもっていく。	第2回進める会
32	親水性の確保として新しい施設を作っていく場合は、例えば干潟の環境で緑道から川辺に降りられるようにする。船溜まりの活用も含めて考える。	第2回進める会
33	「私は、かわまちづくりでD2ゾーンに橋のたもとからテラスまで緩い坂の歩道を作りたいです。」「私は、新町のエプロンに人が降りやすいようにしてほしい。」「私は、境川に棧橋や艇庫をつくりたい。水上交通の要。」	第2回進める会
34	船着場を整備していきたい。数か所必要である。	第2回進める会
35	「私は水運を可能とする船着場を整備します。」	第2回進める会
36	ボート、舟遊びに関しては、やはり船着場を作りたい。作ってほしいではなく、作ろう。	第2回進める会
37	新巢護岸が欲しい。	第2回進める会
38	「私は、境川で舟あそびがしたい。→川に降りられるようにしたい。」「私は、中町ゾーンで水面が触れられるステージをつくりたい。」	第2回進める会

③川遊びができる環境づくり（泳げる川にしたい）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	昭和30年代には水辺に入って行ける場所があり、子どもたちは川の中で遊んでいた。	第1回懇談会
2	20年前は両岸にハゼ釣りをしている人がたくさんいたし、水と親しんでいる子供たちがいた。	第1回懇談会
3	境川をかつてのように泳げる川にしたい。	第1回懇談会
4	水辺に入っていける場所があり、境川で泳ぐ練習ができ、泳ぎを教える人がいるとよい。	第1回懇談会
5	浦安の子供たちの遊びがゲームじゃなくて川遊びという妄想が、実現してほしいと思う。	第3回懇談会
6	本物の川で泳げるエリアがある、潮干狩りができるなど、限られたエリアでも「都心近くのこんなところでもこんなことができる」ということがあるとよいと思う。	第3回懇談会
7	イベントを行っても子供の参加が少ない。子供が自由に水上で遊べる環境づくりを進めてほしい。	第3回懇談会
8	昔の境川では水遊びができたが、復活できないか。	第4回懇談会
9	排水機場はポンプアップをしているのだから、しおかぜ緑道のように川の水が直接公園中を流れていくようにすると、そこで子供たちも安全に水に触れられる。	第3回懇談会
10	昔は東水門からは海で干潟的環境があった。原風景として排水機場といくつかのところで実験的に干潟的環境を作り、それらを結びつけることによって船を着ける場所も作れる。原風景のイメージを持ちながら、現代的な遊びもできるという作り方が重要ではないかと思う。【再掲】	第3回懇談会
11	境川で水に親しみながら遊びたい。	第2回進める会
12	「きれいな境川で遊びたい。」	第2回進める会
13	「河童（こどもたち）が泳げるようなきれいな川にしたい。」	第2回進める会
14	「私は子どもの水遊びに境川を利用します。」	第2回進める会
15	「私は、きれいな境川で遊びたい。」	第2回進める会

32 人が集い、交流する拠点をつくる（賑わい創出）

①スポーツ・レクリエーション（水上スポーツ、釣り、乗船体験など）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	干潮時は水面まで2m近い護岸を、カヌーを片手に担いで梯子で降りる状況である。誰でもが安全に水面にアプローチできる施設が設置されたらよりカヌー等の活動が活発になる。	第2回懇談会
2	川岸で乗船できる場所や水に触れられる拠点施設があれば、より観光のPRができる。	第2回懇談会
3	駐車場、カヌー置き場、スロープ、浮桟橋など地上の設備（電気・水道・GAS、船溜まり周辺の整備と全面開放）も含めて検討していただきたい。	第2回懇談会
4	東水門から今川橋あたりまでのEボートの運航には、親水テラス（東水門下）か、船係留の辺りから乗船できれば、船からの景観（桜・こいのぼり）が楽しめる。	第2回懇談会
5	水上スポーツは、カヌーとか船を使ったものが考えられる。	第4回懇談会
6	「釣り」「水上スポーツ」「船」「見る」	第4回懇談会
7	「カヌー」「釣り」「スポーツ・レクリエーション」	第4回懇談会
8	水上スポーツのメッカにしたいという非常に強い思いがある。	第4回懇談会
9	「水上スポーツのメッカ浦安！！」「選手の育成 カヌーでオリンピック」「水面の活用！！」「水面利用 陸と水との連続」	第4回懇談会
10	楽しさは、水がキレイ、桜や緑がある、魚釣り、水辺に近い（魚が見える）など総合的な気持ち良さからなるものと思う。【再掲】	プレ（仮称）勉強会
11	プレジャーボートやべか舟の乗船体験などを定期的に行える乗船場を整備し、公園と繋ぐことで川とまちが通じる。	プレ（仮称）勉強会
12	浦安トラベル冊子に修学旅行の体験学習の紹介として、Eボート乗船体験、屋形船などの浦安の歴史、三番瀬の環境学習センターなどを掲載している。【再掲】	プレ（仮称）勉強会
13	釣りは近未来に実現するのではないかな。	第2回進める会
14	カヌーなら浦安、常に大会をやっている、カヌーの艇庫がある、カヌー教室がある、カヌーの事なら浦安に行けば何とかかなる。そういう設備を作り大会も行うことで、若者を集める仕掛けを作りたい。	第2回進める会
15	釣りのメッカにする。	第2回進める会
16	「私はかわまちづくりで、ハゼ釣りがしたいです。」「私はかわまちづくりで、境川で釣りがしたいです。」「私は魚を放流し、釣りができる境川にしたいです。」「私はかわまちづくりで、スポーツのメッカとなるものを作りたい。（例：カヌーなら境川がメッカ）」「私はかわまちづくりで、流れる境川で舟にのりたいです。」「私は境川でボート遊びがしたいです（下流）。」「舟で遊びたい。」「境川で釣りがしたい。」「べか舟の定期運航！」「お散歩舟の就航。」	第2回進める会
17	水運、べか舟の復活。べか舟では人は運べないから水上バスというものもある。	第2回進める会
20	新町から船に乗って元町へ行き、で天ぷらを食べながら一杯やっても車ではなく船で帰ることができたら鰻背（いなせ）な感じである。	第2回進める会
21	元町の人が家族で船に乗って総合公園で遊び、キャンプをやって帰る。	第2回進める会
22	水運も境川だけではない。なぜ竹芝桟橋から浦安まで来ることができないのか。ディズニーランドが「夢の街」なら、桃太郎のように海から行くのが「夢の街」ではないか。「水運の街」としてこれから売っていくのがいいのではないかなと思う。	第2回進める会
23	「私は、境川がスポーツ（カヌー・ボート）のベースにしたい。」「私は、境川が交通手段となるよう期待する。」「私は境川にべか舟観光船を浮かべたい。」「私は、舟を使って川の中からまちを見ることがしたいです。」「私は水上バスの運行がしたい。」	第2回進める会
24	スポーツについてはカヌーの練習場を作る。	第2回進める会
25	常設定期的なものとして「べか舟」の運行やボートの乗船体験を定期化したい。	第2回進める会
26	市民意識の醸成ということで水上スポーツの聖地にしたい。カヌーの授業を行いたい。	第2回進める会
27	「私は境川にカヌー練習場を作りたい。」「私は、境川の水面の活用を積極的に図りたい。舟の就航、イベントの開催。」「私は境川で定期船（べか舟・伝馬船）を運行したい。」「私は境川で、べか舟、伝馬船の運用をしたい。」「私はかわまちづくりで、Eボート体験乗船を定期化したい。」「私は、境川かわまちづくりで、小中学生にカヌー授業を行いたい。」「私は、境川を水上スポーツの聖地にしたい。」	第2回進める会
28	楽しいことをやろうということでは、釣りや水遊びが出た。	第2回進める会
29	舟を移動手段にするということでは、新町、中町、元町を繋ぐ一本の大きな川の動脈なのでここを活かすべきである。	第2回進める会
30	夜も運航している「夜間舟タクシー」があったらいい。	第2回進める会
31	子ども達、大人も含めて釣りや舟を利用した乗船体験などが楽しめたらいい。	第2回進める会
32	「私は、かわまちづくりで境川で乗船体験がしたい。」「私は、境川の船便を整備。元町-中町-新町」「私は、郷土博物館から船で境川に出られるようにします。」「私は、かわまちづくりで海（新町）と川（旧町）をつなぐ水上運行の企画をやりたいです。」「水上タクシー」「私はかわまちづくりで、境川でハゼ釣りがしたい。」「私は、釣りを楽しめる川にしたい。」「私は境川のスポーツ利用（カヌー・ボート）など。」	第2回進める会
33	ボート、舟遊びというのは水面利用の基本である。	第2回進める会
34	「私は、境川で元町と中町・新町をつなげたいです。」「私は、境川にお散歩ボートを走らせたいです。」「水面をボートで楽しみたい。」「私は、境川で舟あそびがしたい。→川に降りられるようにしたい。」「【再掲】「Eボートなど。」海釣り	第2回進める会

②商業活動、にぎわい施設の設置

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	親水テラスが、もっと市民が親しめる浦安の水辺の拠点になるようなことが考えられないかと思います。川の駅という発想が実現することを希望します。	第2回懇談会
2	新浦安駅前のような、インキュベーション施設のようなものがあることが望ましい。	第2回懇談会
3	飲食店の誘致	第2回懇談会
4	D2ゾーンは広いので、緑道に一時的なお店やカフェがあるなど、人がくつろげる空間形成ができるルールと誘致が必要と思う。	第3回懇談会
5	2階建てのオープンテラスができたらいと思った。市役所の前にある親水施設に平らな屋根をかけ、テーブル、椅子、パラソルを置いて、そこでお茶を飲んだり、下では水辺に触れられ、SUPやカヌー、Eボートなどが乗れる。東水門のエリアはわりと広い場所なのでそういうものがあると水に映えてきれいだと思う。	第3回懇談会
6	水辺のカフェが欲しいと運動されている方もいる。	第4回懇談会
7	「水上カフェ お休み処」	第4回懇談会
8	川に降りられるようにしたい。カフェを設置したい。	第4回懇談会
9	「カフェ設置のための施設の充実」	第4回懇談会
10	商売にはどれだけ人が集まれるかである。コロナ禍前であれば、交通公園などには結構人が集まるので、やってみたいという人はいるかもしれない。	プレ（仮称）勉強会
11	しおかぜ歩道橋付近で屋台のコーヒー店を出店している人がいた。なのでポテンシャルはあると思う。	プレ（仮称）勉強会
12	キッチンカーであれば水辺に出しやすいのではないかな。定期的に行えば、何かやっているということになるのでいいかと思った。	プレ（仮称）勉強会
13	Bゾーンの遊歩道がきちんとできれば、川に向かった何かできるかもしれないという期待はある。現状では、河川の両脇には賑わい創出する公共空間が少ないので、隣接する公園や排水機場等の公共地を民間に貸し出すなど利用すべきである。	プレ（仮称）勉強会
14	市役所前の親水テラスで、ボート・音楽・芋煮を行った例があり、結構な人が来た。屋根を付けると、屋上も利用できるようになるので良い。	プレ（仮称）勉強会
15	修景整備された境川に人が通らないのは、お店がないからだと思う。	第6回懇談会
16	春まつり（カフェテラスin境川）の時にエリアでない場所でも商売をしている人がいた。境川で継続的に何か行えば、お店をやる人が現れるのではないかな。	第6回懇談会
17	駐車場がないと誰も来ないので、施設等を整備するときは必ず駐車場も整備していく。	第1回進める会
18	境川に貝殻を積んであるところが何か所かある。川と陸とをうまく繋ぐスポットを皆で検討しながら議論が進めば、いろんなことが盛り上がると思う。	第3回懇談会
19	鴨川にあるような納涼床を作りたい。あるいは砂浜。砂浜づくりのきっかけを作りたい。【再掲】	第2回進める会
20	水質浄化の噴水を夕方からライトアップすれば、一つの名物になり観光にも役立つ。人集めにもなるのではないかな。	第2回進める会
21	コロナの前に海辺のカフェというのをやり、小さな砂浜を作ったら子供たちはそこでわいわい楽しんだ。そういうものがあると人は集めやすいということになる。	第2回進める会
22	「私はかわまちづくりで、納涼床を作りたい。」「私はかわまちづくりで、砂浜作りのスタートとなるものを作りたい。」「【再掲】	第2回進める会
23	「私は、境川南の船溜まりを商業施設と併せた整備をしてほしい。」	第2回進める会
24	自分たちのアイデンティティを売るという観光。とってつけたような観光ではなくて暮らしやここの良さを売る。	第2回進める会
25	「私は、松ノ湯さんをリノベーションしたい。（Cafe）」「私は、浦安の名産を広めたい。」「私は、境川とTDLとのコラボを期待する。」「私は、外からの人も楽しめるような仕掛けを考え提案していきたい。」	第2回進める会
26	施設としては船溜まりに昔の漁村を感じられる（例えばそこに魚が上がっていく）ような賑やかな場所があってもいい。	第2回進める会
27	「私は、船溜まりに漁村を感じさせる商業施設を整備・誘致してほしい。」「【再掲】「私は、水辺を利用した市民の交流。」	第2回進める会
28	歩くことに関わるものとして、休憩所やカフェなどがあつたらいい。【再掲】	第2回進める会
29	営業主体のものとしてカフェ、屋台、テラス、川の駅、海の駅などがあれば川自体が賑わってくるが、どのような形で運営していくかが課題として与えられたと考える。	第2回進める会
30	「私はかわまちづくりで、境川でカフェがやりたい。」「私は水辺の開発、カフェ、レストラン。」「私はかわまちづくりで、海辺・水辺のカフェ運営をやりたい。」	第2回進める会
31	「海の駅」「川の駅」というのを作る。例えば観光漁業基地として下流の船溜まりがある。	第2回進める会
32	賑わいをもたらすカフェやお店が欲しい。	第2回進める会
33	河口の船溜まりを基地にできないかと。浦安は海が近いので、マリナーやフィッシャーズワーフを作って、お金のある方がボートを浮かべることもできる。	第2回進める会
34	フィッシャーマンズワーフは、市民のための暮らしの場にもなる。	第2回進める会
35	カフェを作りたい。	第2回進める会
36	「私は水上ステージをつくりイベントをしたい。」「私は、境川の両岸にお店、Cafeなどがほしいです。」	第2回進める会

③イベント

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	母なる川である境川の護岸で縁日・飲み会ができると良い。	第1回懇談会
2	パドルレース大会（市長杯）を開催することで、若い人が参加すると親もくる。境川やまちも活性化し、出店も出せばそれなりに成り立つのではないかと。	第1回懇談会
3	日常使用、イベント時の使用を分けて考えることが大事である。	第1回懇談会
4	川沿いにある公有地、遊休地を活用し休憩場所あるいは緑空間、小さなイベントの会場として利用	第2回懇談会
5	浦安市長杯カヌーマラソン大会 ディズニーランド一周約15km	第2回懇談会
6	Eボート大会（10人乗りゴムボート）	第2回懇談会
7	地域の賑わいと子供たちのためにイベントの開催（提案） ①七夕祭り（兩岸の七夕飾りとLED電球を使った天の川）、②灯籠流し、③春秋2回の「お囃子船」を中心としたパレード、④川沿いのプレイロットを使った音楽会などのイベント	第2回懇談会
8	境川河口の窪地について、体験型ワークショップの内容例：淡水池・田んぼ、ピオトープづくり、緑化・花壇づくり、実験的にイベントやマルシェの開催、乗船体験などを行い、広く市民の参加を募りながら、境川全体への意識を高めていく【再掲】	第2回懇談会
9	境川の乗船体験（川から見た「まち」の視点）、イベント、マルシェの開催などは、境川を知ってもらおうと同時に、活用方法などをイメージしてもらうのに有効【再掲】	第2回懇談会
10	パドルレースのようなものを境川で行えば、子供や孫が出場すると親や祖父母も来て、活性化にも繋がるのではないと思う。	第3回懇談会
11	（D1-1ゾーンが）整備されるとイベントもやりやすくなってよいと思う。	第3回懇談会
12	「イベント」「体験」	第4回懇談会
13	「イベント（水質改善が前提）」	第4回懇談会
14	人の移動も含めて、賑わいができるようなイベント。	第4回懇談会
15	「にぎわい、イベント」「境川まつり」「水上スポーツのメッカ浦安！！」【再掲】「選手の育成 カヌーでオリンピック」【再掲】	第4回懇談会
16	当代島の船塚緑道（旧船塚川）にたくさんの船を浮かべて、夏祭りを行ったシーンがあり、水辺の賑わいを感じた。これができれば一大イベントになる。	プレ（仮称）勉強会
17	イベント的には、ストリートパフォーマンス、ミュージシャン、市（いち）等がある。	第1回進める会
18	「ストリートパフォーマンス」「定期的「市」漁・・・など」	第1回進める会
19	江戸川区の新川は、ドブ川であったのが、今は整備されて川沿いに千本桜を植えられている。イベントもたくさん行われており、Aゾーンにそのような賑わいできたらよい。	第1回進める会
20	河口の船溜まりの箇所マルシェや小さな市場（船橋の船をつけてもらって）などができるとよい。	プレ（仮称）勉強会
21	コミュニケーションのために船を使ってイベントができればいい。	第2回進める会
22	「私はかわまちづくりで、元町と中町・新町のコミュニケーションのために船を使ってのイベントがあればいい。」	第2回進める会
23	カヌーなら浦安、常に大会をやっている、カヌーの艇庫がある、カヌー教室がある、カヌーの事なら浦安に行けば何とかなる。そういう設備を作り大会も行うことで、若者を集める仕掛けを作りたい。	第2回進める会
24	水門を閉じて掻い掘りをイベント的に市民参加で行う。とれた魚はみんな持って帰っていいとする。	第2回進める会
25	「私はかわまちづくりで、いかだ競走がしたいです。」「私はかわまちづくりで、四季の祭りがしたいです。」	第2回進める会
26	「灯籠流し」「川せがきの復活を」→供養「水神祭」→漁業	第2回進める会
27	我々のアイデンティティを子供たちに伝えていくためには、次の世代とコラボレーションしながら何かをやって行く必要がある。イベントなど企画を考えていかなければならない。	第2回進める会
28	年間数回いろいろなイベントを行っている。もっと進めるということでカヌーマラソン、クリーンアップの複合的なイベント化やハゼ釣り大会など、いろいろなイベントがあるので今後議論していく。	第2回進める会
29	イベントには、例えば夏の時期のもの、春頃のもの、昔からの浦安の行事もあるので、それらをどのように割り振って行けるか、定例化できるか、年間スケジュールを作るのも面白い。	第2回進める会
30	「私は、境川と東京湾でカヌーマラソン大会をしたい。」「私は、境川の水面の活用を積極的に図りたい。舟の就航、イベントの開催。」「私は、境川でカヌー大会を開きたい。」「私は、境川クリーンアップを複合的なイベントにしたい。」「私は、境川で市民ハゼ釣り大会をやりたい!」「私は境川で、定期的なマルシェ（移動）をしたい。」	第2回進める会
31	定期的なイベントとして、マラソン、ウォーキング、アート、コンサートなどがある。	第2回進める会
32	「私は、水上でコンサートをしたいです。」「私は、かわまちづくりで境川で音楽会をしたい。」イベント定期 マラソン、歩け歩け→ルール（歩きやすい）	第2回進める会
33	水面を使った「イベント」を楽しみたい。	第2回進める会
34	「私は水面と岸辺の融合したイベントの企画をしたいです。」「私は、かわまちづくりで各地区の特徴あるイベントをしたいです。」「私は、水上マルシェがやってみたい。」「私は水上ステージをつくりイベントをしたい。」「再掲」「水面イベントを増やしたい。」	第2回進める会

33 その他（水面利用にあたっての手続きなど）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	入船橋から下流域は、護岸の階段に鍵がかかっている降りにくい。県の事務所まで鍵を借りに行かなければならないため、浦安市で鍵の借用を代行してもらえると助かる。	第2回懇談会
2	現在は許認可に煩雑で労力がかかる。	第2回懇談会
3	河川一時使用届や護岸柵の鍵の借用等の事務を浦安市が代理で実施していただければ、近隣自治会や事業者等で河川愛護のための清掃ボランティア活動が推進し易くなる。【再掲】	第2回懇談会
4	川に降りる階段に鍵がかかっているが、近隣の住民としては、日常的にもっと川に触れ合いたい。【再掲】	第3回懇談会
5	水辺に降りる箇所は鍵がかかっている。市の商工観光課、県の葛南土木事務所に許可をもらって活動している。多くの書類の提出が必要で、あわせて良い方法がないかと思う。	第3回懇談会
6	市役所前の第1第2棧橋は、スバル興業のような業者に委託するとよいのでは？	プレ（仮称）勉強会
7	木の枝を束ねて、生き物が集まるように東水門の上下流に沈めたが、県の水産課に使用許可を取るだけでなく、利根川水系であるので、東京東部、市川、船橋、埼玉東部に同意書を得なければならなかった。	プレ（仮称）勉強会
8	市民利用のルールづくり。	第2回懇談会
9	境川を利用して境川の価値を高めよう。	第2回進める会

4. 教育

41 環境教育

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	子供たちに対する環境学習。	第4回懇談会
2	境川は汚いと言っているが、生き物はたくさんいる。見せてあげられるようにするには、浅瀬を作るとか船が出るような場所があれば、観察場所となる。【再掲】	プレ（仮称）勉強会
3	子供たちに生物を見せたり、生物多様性などの教育材料となるように境川を変えていきたい。【再掲】	第1回進める会
4	「子供たちに生き物を見せる」	第1回進める会
5	中高生にSDGsの実践計画を策定してもらう事業において、境川を題材に何かしらの事業を提案する可能性はある。	第2回懇談会
6	境川水槽を作りたい。自然観察をやりたい。子ども達と一緒に見られる、学んでいく場を作りたい。【再掲】	第2回進める会

42 歴史・文化教育

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	歴史・文化を引き継いでいく教育も必要である	第4回懇談会
2	歴史・文化の学びには、昔の写真を見せたり、べか舟を定期的に運航するなど、そのようなもので伝えていくことが大事と思う。	第2回進める会
3	昔の風景の再現することで、歴史・文化を学ぶことができ市民の意識を境川へ向けることができる。	第2回進める会
4	「私は小中学校に境川の歴史・文化を伝える機会をつくりたい。」【再掲】	第2回進める会
5	銭湯を知らない子供たちに浦安の水と暮らしのを知ってもらうには、この松ノ湯が一つのきっかけになるのではないかな。	第2回進める会
6	魚市場という意味のフィッシャーズマンワープの復活は、特に歴史について子どもの教育になる。浦安は漁師町として発展してきたので、それを次の世代につないでいこう。	第2回進める会
7	浦安の原風景を次世代にバトンタッチする、こどもの心を育てる。	第2回進める会

43 水辺利用教育

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	管理責任があるのかもしれないが、使う人の良識、子供に関しては親が教育するなど、もっと住民に任せて使えるようにしたらよいのではないかな。	第3回懇談会
2	市民意識の醸成ということで水上スポーツの聖地にしたい。カヌーの授業を行いたい。【再掲】	第2回進める会
3	「私は、境川かわまちづくりで、小中学生にカヌー授業を行いたい。」【再掲】	第2回進める会

44 防災教育

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	境川は降雨時に旧市街地の雨水を一手に引き受けている。防災等の役割を担っていることも知ってもらいたい。	プレ（仮称）勉強会
2	防災訓練で自治会対抗Eボート競走を行うなど、自治会参加のアイデアがある。	プレ（仮称）勉強会

44 教育全般

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	「教育」「学校教育」「生涯学習」「調査（市民）」	第4回懇談会
2	「教育」	第4回懇談会
3	「私は、境川が子ども達の知育の場所として活用したい。」	第2回進める会

5. 防災

51 防災が利活用の前提

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	防災は常に考えておくべきである。	第4回懇談会
2	主にAゾーンの話となった。Aゾーンの地盤が低く、何かあったら水に沈んでしまう。	第1回進める会
3	防災面では水位。	第1回進める会

52 治水施設の整備

①河口部への水門・排水機場の整備

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	防災や修景整備・利活用の幅が広がるため、河口部に水門・排水機場の設置が必要。	第1回懇談会
2	河口部の水門・排水機場については、市民にあまり知られていない。費用対効果など情報をもっと出したほうがよい。	第2回懇談会
3	賑わい創出は、水辺（脇）で行うことになる。「かわまちづくり」で、水門で水位をコントロールできれば可能性はあるのではないか。	プレ（仮称）勉強会
4	防災面では、境川の河口部に水門がやはり必要ではないか。	第4回懇談会
5	境川の河口に水門を作り、水位をコントロールすることでより豊かな水辺の活用もできる。	第4回懇談会
6	「河口部に水門」	第4回懇談会
7	河口水門はかなりの費用が掛かる。身近なところに予算を回してもらった方がいいのではないか。	第4回懇談会
8	河口に水門を作るという話がある。これも頭に入れて議論の対象にする。	第2回進める会
9	「河口水門の必要性の確認。」	第2回進める会
10	船着場は、防災拠点にもなり得るのではないか	第2回進める会

②護岸の強化

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	護岸の耐震性に問題はないのか。	第1回懇談会
2	東日本大震災の時に中流域の変形した護岸を一部改修しているが、暫定改修と捉えている。護岸の補強と合わせて親水性を高めることもあり得る。	第4回懇談会

53 教育・歴史

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	浦安の歴史は、鎌倉時代くらいから漁師町として水害に対してきた。何度も集落が壊滅しては復活したという歴史がある。【再掲】	第4回懇談会
2	境川は降雨時に旧市街地の雨水を一手に引き受けている。防災等の役割を担っていることも知ってもらいたい。【再掲】	プレ（仮称）勉強会
3	防災訓練で自治会対抗Eボート競走を行うなど、自治会参加のアイデアがある。【再掲】	プレ（仮称）勉強会

6. 複数にかかわるもの、その他

61 特定エリアの整備・活用

①河口部

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	境川河口の窪地について、市民みんなで創る参加型の公園づくり：計画案づくりと体験型ワークショップを開催しながら計画案を作成。	第2回懇談会
2	川と海がつながっていることが、境川の特徴である。川と海をつなげるという意味で、高洲の船溜まりも境川の活用につなげていきたい。	第1回進める会
3	境川の河口部を勉強会の検討対象の範囲にきちんと入れるべきではないか。	第4回懇談会
4	「河口部の活用を検討⇒検討範囲の再考」	第4回懇談会
5	D1-1ゾーン右岸（東野側）の河川管理用通路は、普段歩くことがなく新鮮だった。	第1回懇談会
6	「私は高洲河口部船溜まりで楽しいことがしたい。」「私はかわまちづくりで、漁業基地近辺の活用を考えたいです。」	第2回進める会
7	テーマに上がっているDゾーンから外れた日の出橋から東京湾にかけても何らかのゾーンに入れていただきたい。我々がこれから話し合っていくには入れた方がいい。	第2回進める会

②新橋周辺の広場

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	「新橋横の広場をどう使う？」	第4回懇談会
2	「かわまちづくりの目的趣旨と新橋周辺整備のギャップ」	第1回進める会

③D1-1ゾーン（市役所周辺エリア）

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	D1-1ゾーンが寂しい状態とっていたので、整備されて市民の方々がもっと川に親しんでもらえる場所になることはすごくよいと思う。	第3回懇談会
2	(D1-1ゾーンのイメージ図の) 公園が広い感じがする。水面の埋め立てが必要になるのではないかと気になった。	第3回懇談会

62 維持管理

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	(D1-1ゾーンのイメージ図の) ウッドデッキはきれいだが、管理費が掛かっては大変ではないか。	第3回懇談会
2	「現状①下流部以外は日常的に利用されていない」「②何が不足しているからか?」「③どうすればよいか?」「④誰が実施するのか?」「⑤ハード整備と維持管理の主体」	第4回懇談会
3	「私は、境川沿いの緑道の植栽などのメンテナンスを市民ができるとうい。」	第2回進める会

7. かわまちづくりの検討・運営体制

71 懇談会、協議会、進める会の運営など

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	もっと若い方、女性の方々、子育て世代の人たちが積極的に参画できる懇談会運営を期待する。	第2回懇談会
2	誰もが境川に興味を持てるような「川まちづくり」の取り組みになることを願い、多くの市民にご意見をいただけるよう、広報での公開を希望する。	第2回懇談会
3	「かわまちづくり」は持続的に行わなければならないので、予算の確保、つまり民間がその「かわまちづくり」の中で利益を生み出し、そこから維持管理などに資する原資の一部を調達する必要がある。	第2回懇談会
4	河川の親水化には権限と責任、予算措置などいろいろと困難な課題があるが、それを乗り越えて実現させた先進事例から学ぶべき。（江戸川区など）	第2回懇談会
5	法令など様々な規制、制約等がある中で、一定の目的（環境整備）に向け、関係者がこれまで以上に柔軟な考えのもと、具現化していく方法を追求していく姿勢が求められるものと考えます。	第2回懇談会
6	江戸川・見明川・境川に面した水面と三番瀬・総合公園・高洲公園・ディズニーランド周辺の海岸線を含めた水際線は浦安を特長づける自然資産である。境川の次も視野に入れた計画策定をお願いする。	第2回懇談会
7	境川は浦安のシンボルとして認識している。卑しいという見方をする人もいる「金儲け」に境川が利用されることや、外部事業者の参入可能性ということに対して、市民・住民の理解が得られるか。もし、そのような施設が必要だということになった場合、透明性を確保しつつ、理解が得られるよう説明をしていく必要が今後あり得る。	第2回懇談会
8	D1-1ゾーンは今川橋までの間にプレジャーボートが沢山係留されている。このまま将来的に置いておくのか。	第3回懇談会
9	進める会は、参加者の範囲を広げ、議論を深めていく必要があり、テーマごとに議論する段階には至っていないのではないかと。	第5回懇談会
10	進める会は、仮設定したテーマで、まずは（仮称）勉強会として動き出すことが重要である。熟度が高まってきた段階で新たな参加者を集めていくような形が良いのではないかと。	第5回懇談会
11	進める会は、参加者が同じ情報、知識を共有できるようにまずは勉強会形式で行い、その後にワークショップなどを開催したほうがよいのではないかと。	第5回懇談会
12	進める会を運営していく上では議論のテーマは決めておいた方がよい。	第5回懇談会
13	進める会は、スケジュール、作業目標等もあらかじめ決めておいた方がよい。	第5回懇談会
14	進める会は、ホームページだけではなく、広報等で発表すると懇談会に参加していない方から意見をいただけるのではないかと。	第5回懇談会
15	進める会は、プレ（仮称）勉強会くらいの少人数で、言いたいことが言えるのがよい。	第5回懇談会
16	進める会では、ヒアリングしてくれる人が一人いてくれるとよい。聞かれることによっていろいろなことを引き出せる。	第5回懇談会
17	進める会では、白地図を一人一人が持ち、場所毎にやりたい事を書き出し、まとめて大きなものしていけば、全体像を作っていけると思う。	第5回懇談会
18	進める会は、ワークショップを行うなど、いろいろなことで人を増やしていくとも大事だと思う。	第5回懇談会
19	進める会に広い年齢層に参加してもらう方法は、スケジュール感とマッチさせて具体的に決めていかなければならない。	第5回懇談会
20	進める会は、リアルな会議とオンラインを併用で、夕飯が終わる頃の夜8時くらいから開催するのはどうか。	第5回懇談会
21	協議会での活動には費用が発生するが、ボランティア的な活動は、今は非常に難しい。活動の実効性を確保するためには、収益を得られるスキームが必要ではないかと。	第6回懇談会
22	設えを変えたい 「計画づくり→実施計画（予算、組織）」	第1回進める会
23	河川管理者と浦安市、市民の声をうまく回すために市民としてできることは何か、市から具体的に示していただければ、自治会でこんな声をあげようという話ができる。	第1回懇談会
24	元町、中町、新町のメンバーの考え方の違いについて話をした。	第1回進める会
25	分野ごとだけでなく、ゾーンごとに議論しても良いのではないかと。	第1回進める会
26	「行政のやり方もっとオープンに」	第1回進める会
27	市民目線	第2回進める会
28	まず現状をきちんと把握しよう。	第2回進める会
29	境川の未来の一枚の絵が描ける。	第2回進める会
30	NPO法人かわまちづくりの会を作れるとよい。	第2回進める会
32	ゾーン分けを細切れにアルファベットを使うのは、キーワードの共有に関していかなものかと思う。境川元町区域、中町区域、新町区域で我々は進めていけばいいのではないかと。	第2回進める会
33	かわまちを理解するためのシンポジウムとかミニシンポでいいが行いたい。	第2回進める会

72 かわまちづくり計画

	発言内容・付箋記載内容	開催回
1	令和5年度の登録を目指すのであれば、11月には国土交通省のヒアリングを受ける必要があるが、このヒアリングで示す計画の原案を懇談会でも示していただきたい。	第5回懇談会
2	当面の目標は、かわまちづくり計画の登録であると考えます。まずは、登録されるための計画書づくりを進め、登録後、活動しながら改善していけば良いのではないかと。	第5回懇談会
3	かわまちづくり計画の登録のための基準はあるか。	第5回懇談会
4	かわまちづくり計画について、どの程度までできていけば登録されるのか。ハードルの高さがわからないと、どのようなスケジュールで進めていくかイメージがつかめない。	第5回懇談会
5	境川が背骨だとすると見明川や三番瀬の干潟、あるいは東京湾が肋骨になる。そのくらいのスケールでやらないとただ境川を何とかしようという事だけになってしまう。	第6回懇談会